

南北共同宣言

祖国の平和的統一を念願する全民族の崇高な意志により、韓国の金大中大統領と朝鮮民主主義人民共和国の金正日国防委員長は、2000年6月13日から15日まで平壤で歴史的な対面と首脳会談をおこなった。

南北首脳は分断の歴史上初めて開いた今回の対面と会談が、お互いの理解を増進させ、南北間関係を発展させ、平和統一を実現させる重大な意義を持つと評価し、次のように宣言する。

南北は国の統一問題を、その主人である我が民族同士でお互い力を合わせ、自主的に解決していくことにした。

南北は国の統一のため、南側の連合制案と北側の緩やかな連邦制案がお互い、共通性があったと認め、今後、この方向から統一を志向していくことにした。

南北は、今年8・15に際して、離散家族、親戚訪問団を交換し、非転向長期囚問題を解決するなど、人道的な問題を早急に解決していくことにした。

南北は経済協力を通じて、民族経済を均衡的に発展させ、社会、文化、体育、保健、環境など、諸般の分野の交流を活性化させ、互いの信頼を固めていくことにした。

南北は以上のような合意事項を早急に実践に移すために、早い時期に当局間の対話を開催することにした。

金大中大統領は、金正日国防委員長がソウルを訪問するように丁重に招請し、金正日国防委員長は今後適切な時期にソウルを訪問することにした。

2000年6月15日

大韓民国

朝鮮民主主義人民共和国

大統領 金大中

国防委員長 金正日